

部内限

生徒終末教育参考資料

昭和十六年三月

砲術士勤務参考

- 一、不用ニ歸シタルトキ
- 二、本人死亡ノ際ハ遺族ヨリ返却スベシ

海軍兵學校

ノ
モ
ノ
ヲ
基
礎
ト
シ
タ
リ

本
書
ハ
昭
和
十
四
年
練
習
艦
隊
發
行

砲術士勤務參考目次

第一章	砲術科編制並ニ砲戰指揮系統	一
第二章	砲術士ノ職務一般	三
第三章	教育訓練	五
第四章	經過圖作製法	〇
第五章	船體兵器ノ整備保存手入	一
第六章	火藥火工兵器ニ關スル事項	二
第七章	練習生ニ關スル事項	四
第八章	圖書帳簿類及其ノ整理	六
第九章	報告書類(砲術士關係ノミ)	七
第十章	砲術士直接保管整理スベキ書類	九

砲術士勤務参考

第一章 砲術科編制並ニ砲戰指揮系統

一 砲術科ノ編制

艦内編制令參照

二 砲戰指揮系統

戰鬪指揮系統並ニ戰鬪任務ハ軍艦戰鬪部署標準草案中艦内戰鬪配備ノ部ヲ參照スベシ

三 砲術科各員ノ職責（艦船令軍令海第一號、諸例則卷ノ一、及艦船職員服務規程達第百十一號）

(一) 砲術長ハ艦長ノ命ヲ承ケ砲術科員ヲ監督シ戰鬪ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ、砲術及電氣器具ニ關ス

ルコトヲ擔任シ、之ガ教育訓練ヲ掌リ、主管ノ船體、艦船艦裝品及兵備品ヲ整備ス

(二) 副砲長ハ艦長ノ命ヲ承ケ砲術長ノ職務中副砲ニ關スルコトヲ分擔ス

(三) 砲術士タル乘組兵科士官ハ各其ノ直屬上官ノ命ヲ承ケ服務シ其ノ職務ヲ分擔補助シ、關係下士

官以下ノ才幹性行技能健否等ヲ詳知シ其ノ服務ノ狀況ニ注意シ時々之ヲ直屬上官ニ報告シ之ガ

(四)

進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スベシ

掌砲長ハ砲術長ノ命ヲ承ケ砲術長主管ノ船體、艦船艤裝品及兵備品ノ出納修理ニ關スル事務ヲ掌リ又分隊長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之ガ整備充實保管手入等ヲ擔當シ常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持スベシ

第二章 砲術士ノ職務一般

一 砲術士ヲ命ゼラレタルトキ先ヅ研究スベキ事項左ノ如シ

- (一) 砲臺區分、測的班並ニ照射班區分
- (二) 砲臺射擊幹部及測的分隊ノ編制
- (三) 射擊指揮系統、砲戰通信裝置、射擊指揮要具
- (四) 方位盤射擊裝置
- (五) 軍艦部署內規戰則及艦隊戰隊戰策、軍艦戰鬪部署標準草案
- (六) 砲戰關係操式、教範、砲術科關係諸規程
- (七) 砲煩及附屬具ノ一般(制式數、構造、要具、現狀、使用法、保存手入法)
- (八) 主管兵器ノ制式、數量、構造、使用法、格納位置、供用受持現狀
- (九) 射表及同附表ノ使用法
- (十) 机上射擊ニ關スル計畫法、要具取扱保存手入
- (十一) 陸戰隊關係事項並ニ小銃機銃及拳銃射擊訓練規程(諸例則卷ノ三)
- (十二) 戰技檢定競技ニ關スル規定

- (出) 砲術關係諸令達
- (出) 砲術關係回覽書類
- (出) 砲術要誌、彈火藥庫日誌、番兵手帳ノ現狀
- (出) 砲術分隊及特修兵（掌砲兵、掌測的兵）ノ現狀
- (出) 火藥火工兵器ニ關スル事項
- (出) 軍隊教育規則（諸例則卷ノ三）
- (出) 艦砲射擊訓練規則（內令提要卷二）、戰鬪訓練規則草案
- (出) 兵器簿、砲歷、測距儀歷

第三章 教育訓練

一 兼務配置ナキ限り砲術士トシテハ直接兵員ノ教育訓練ニ關係スルコト少シト雖モ砲術長ヲ補佐シテ砲術教育ノ實果ヲ發揚スルコトニ努ムベキナリ

二 教育訓練ノ實施ニ當リテハ砲術士ハ砲術長ノ命ヲ承ケ教育、人員ノ請求、水壓電流等ノ準備、砲術長ノ通達簿ニ依リ關係諸官ニ砲術長ノ命令達示等ノ傳達、教育訓練ノ成績、調査研究材料ノ蒐集等ニ任ズルモノトス

三 海軍ニ於テハ毎年十二月一日ヨリ翌年十一月末日迄ヲ以テ一教育年度トシ、軍艦ノ教育ハ其ノ一教育年度時ニ完結セシムルモノトス。教育年度初頭基本長ハ基本部教育方針ヲ定メラル。砲術長ハ之ヲ基礎トシ基本長ノ名ニ於テ砲術科教育計畫ヲ定ム

四 檢定 競技

艦砲射撃訓練規則、競技ニ關スル件（共ニ內令提要卷二）竝ニ戰鬥訓練規則草案ニ詳細記載シアリ。且檢定ニ關シテハ更ニ詳細ナル實施標準ガ所屬長官ヨリ出サレル。之等ニヨリ各基本部ハ檢定實施計畫ヲ制定シ之ニヨリ檢定ヲ行ヒ年度末海軍檢定褒賞令施行規則（內令提要卷二）ニヨリ受賞者ヲ決定ス

檢定ノ種類

一 操砲檢定（照準發射法、射彈指導法（機銃ノミ）、照尺改調法、裝填法、操法、兵器整備ニ分ル）

二 給彈藥檢定（彈藥供給法、操法、兵器整備、諮問ニ分ル）

三 測的檢定（測距員檢定、的速的針變距苗頭測定員檢定、通信傳令員檢定）

四 照射檢定（照射機員檢定、探照燈員檢定（管制器ヲ有セザル探照燈）、補助員、通信傳令員檢定）

五 幹部附檢定（射擊所員、指揮所員、發令所員檢定、高射裝置員檢定、機銃群指揮所員檢定、通信傳令員檢定）

六 電路員檢定（技能、兵器整備、諮問ニ分ル）

七 聽測檢定（聽音法、修正法、的速高度測定法、操法、兵器整備）

競技ノ種類

機銃員競技（在役各艦船部署ニ依ル機銃配置員但シ陸戰隊部署ノ配置員及十三耗以上ノ機銃員ニシテ檢定資格アル者ヲ除ク）

檢定及競技ハ下士官兵ノ戰鬪力向上々最モ重要ナルモノ故其ノ實施ニ當リテハ充分慎重ナル態度

五 艦 砲 射 撃

ヲ以テ致サザルベカラズ。砲術士ハ良ク其ノ要領ヲ知悉シ檢定競技ニ必要ナル要具ヲ整備シ委員、委員附ニ對シテハ能ク其ノ職務ヲ教示シ、又終了後ハ速カニ成績ヲ調整シ規定ノ期日ニ規定ノ報告ヲ提出シ得ルヤウ努力ヲ要ス

(一) 戰團訓練規則草案及ビ艦砲射撃訓練規則ニ從ヒ施行ス

射 撃 種 類	射 撃 實 施 區 分
戰 術 射 撃 研 究 射 撃	所屬長官(聯合艦隊長官ヲ含ム)之ヲ施行ス。但シ所屬長官ハ戰隊司令官又ハ基本長ヲシテ行ハシムルコトヲ得 主要研究項目(研究射撃ハ施行ノ都度)及射撃區分(艦砲射撃ヲ施行スベキ艦船射撃ノ種類)及射撃彈藥ノ年額ハ毎年大臣ヨリ告達セララル。此ノ告達ニヨリ所屬長官之ヲ施行ス。但シ戰隊司令官ヲシテ之ヲ計畫又ハ指導セシムルコトヲ得

(二) 艦砲射撃ニ當リ砲術士トシテ考慮ヲ要スル事項

(イ) 關係法規實施計畫(長官若クハ戰隊司令官ノ定ムルモノ)實施方案(基本長ノ定ムルモノ)ヲ能ク熟讀スルコト

(ロ) 要スレバ砲術長ノ命ヲ承ケ實施方案、射撃要表等ノ調製、提出、配布

(ハ) 射撃諸元ノ計算(射撃教範參照)

苗頭ハ工夫ヲシ凡ベテノ對勢ニ應ジ卽刻算出シ得ルガ如キ表ヲ作製ノコト。轉舵ニヨル苗頭竝ニ射距離ノ修正ハ平素ヨリ充分研究シ置クヲ要ス

(ニ) 測距儀ノ調整竝ニ誤差測定(測的分隊アルトキハ測的長之ヲ行フ)

此ノ誤差ハ砲術長ノ指示ヲ受ケ且研究シテ決定セザレバ大ナル失敗ヲ演ジ射撃ヲ無價値ナラシムル一大原因トナル

(ホ) 指揮測的要具通信裝置ノ整備

下士官ニ委スコトナク一應自ラ當リテ其ノ試驗調整スルヲ要ス

(ヘ) 記録用紙秒時々計ノ整備

記録用紙ハ一定シタルモノナシ。各艦ニハ聯合艦隊司令部ヨリ配布ノ射撃戰技委員規程ナル圖書アルヲ以テ之ヲヨク研究シ、夫ニ記載ノ事項ヲ記註スルニ最モ都合ヨキ様ナル形式ヲ撰ブヲ要ス。渦卷式ノ記録用紙最モ簡便ナリ

(ト) 委員、委員附(聯合艦隊射撃戰技委員規程參照)

委員、委員附ニハヨク其ノ任務ヲ説明シオクヲ要ス。然ラズンバ射撃終了後諸成績算出ニ一大困難ヲ感ズベシ

(チ) 火藥火工兵器及標的(聯合艦隊掌の内規參照)

(9)

右事項ハ掌砲長ノ分擔ナルモ大體ヲ知悉シオクヲ要ス)

射撃後ノ整理

射撃修了セバ直ニ委員、委員附ヨリ記録ヲ蒐集成績ヲ作り報告書類ヲ作製所定期日内ニ之ヲ提出スルヲ要ス(艦砲射撃訓練規則、艦砲射撃教範、聯合艦隊射撃戰技委員規程及同射撃成績調査内規参照、軍艦、砲、種戰闘射撃測的成績算定要領)

第四章 經過圖作製法

經過圖作製ニ當ツテハ艦砲射擊教範ヲ熟讀スルヲ要ス

一 作製ノ目的

經過圖作製ノ目的ハ射擊經過ヲ明カニシ其ノ實施ノ適否ヲ定メ將來ニ對スル教訓ヲ得ントスルニアリ。故ニ作製ニ當リテハ事實ヲ基礎トシ眞ノ經過ヲ示ス如ク努メザルベカラズ

二 實距離ノ測定

艦砲射擊教範第三百二十六ノ要領ニ依リ求ムベシ（軍艦、砲、種戰鬪射擊測的成績算定要領ヲ參考トスベシ）

第五章 船體兵器ノ整備保存手入

- 一 砲術科船體兵器ノ整備保存手入ハ砲臺ニ屬スルモノハ砲臺長之ニ任ジ、其ノ他彈藥庫、補用兵器、需品等ニ關スルモノハ掌砲長主トシテ之ニ任ズルヲ以テ砲術士トシテハ別ニ直接監督スベキモノナシト雖モ砲術要誌、砲歴其ノ他諸記録類ノ整備上砲術士トシテ之等ノ現状ヲ知悉スルノ要アリ。又自ラ修理改造其ノ他意見ヲ有スルトキハ砲術長ニ申出ヅベシ
- 二 砲術士専務ニアラズ他ノ配置アルトキハ其ノ受持兵器ヲ完備ニスベキコト分隊長ト同様ナリ
- 三 日常武器手入等ノ場合ハ勿論時々砲臺其ノ他各部ヲ巡視シテ兵器ノ現状ヲ調査知悉スベシ

第六章 火藥火工兵器ニ關スル事項

一 火藥火工兵器ノ取扱ハ砲術長、砲臺長及寧砲長主トシテ之ニ任ズルモ砲術士モ亦能ク現状ヲ知悉シ特ニ取締ノ如キハ番兵ヲ監督シ嚴重ナラシムルヲ要ス
知悉スベキ事項

彈火藥庫ノ位置、構造、冷却裝置、通風裝置、檢溫檢濕裝置、防熱裝置、注水裝置、排氣裝置、排水裝置、彈藥積卸シ裝置、揚彈藥裝置、彈藥庫内ノ彈藥ノ容量、定數、現在格納セル種類、數

二 參 考 圖 書

砲用信號用火工兵器取扱教範 (海軍教秘)

火藥火工兵器取扱規則 (内令提要卷三)

火藥火工兵器貯藏檢査規則 (同 右)

艦船彈火藥庫鑰匙竝取締規程 (同 右)

艦内彈火藥庫取締ニ關スル件 (大正六年官房機密第七一九號、内令提要卷三)

三 彈火藥庫ノ取締ニ關シテハ砲術長ノ命ヲ受ク。之ガ爲ニ特ニ左記事項ニ注意ヲ要ス

(イ) 彈火藥庫取締内規ヲ熟知シ若シ不備ノ點アラバ砲術長ニ申出スコト

(ロ) 彈火藥庫日誌ノ整備（内令提要卷三參照）

(ハ) 時々番兵手帳ヲ點檢其ノ記註法ヲ監督スルコト（内令提要卷三參照）

(ニ) 時々艦内ヲ巡視シテ彈火藥庫群及鍵箱番兵ノ勤惰ヲ監督ス

四 防火ニ際シテハ下士官兵ノ注水配置ノ受持ハ確實ニ守ラレ居ルヤ、器具ノ使用ハ熟知シアルヤ等

ヲ調査研究シ置クコト

五 入渠セバ渠中注水法ヲ研究シ置クコト

第七章 練習生ニ關スル事項

- 一 砲術學校練習生ニ關シテハ海軍砲術學校規則（諸例則卷ノ一）及鎮守府例規（練習生取扱手續）ヲ參照スルヲ要ス
- 二 普通科砲術練習生、普通科測的術練習生選拔手續
 - (イ) 横鎮長官ハ採用員數、入校期日等其ノ他必要ナル事項ヲ他鎮守府長官ニ告知ス
 - (ロ) 各鎮長官ハ前項ノ通知ニヨリ鎮守府公報ヲ以テ練習生ヲ募集シ左記事項ヲ基本長ニ通知ス
 - (一) 採用員數
 - (二) 停年及勤務日數計算期日
 - (三) 採用試験施行期日
 - (四) 選拔表鎮守府へ到達期日
 - (五) 入校豫定期日
 - (ハ) 練習生募集ノ公報出ヅレバ副長ハ之ヲ兵員室ニ揭示候補者ヲ募ル
 - (ニ) 各分隊ヨリ志願書集マラバ之ヲ砲術長ヲ經テ副長ニ提出以後次ノ如ク處理ス
 - (ヘ) 各鎮所定ニ從ヒ聯合試験及聯合身體検査ヲ行フ（聯合ニテ行ヒ得ザルトキハ單獨ニ行フ）

- (一) 右聯合試験委員ヨリ送附シ來タレル成績並ニ各鎮守府練習生選衛内規ニヨリ各所轄ニ於テ選拔表ヲ作製所轄長ヲ經テ鎮守府長官ニ報告
- 選拔表順序決定ニ際シテハ關係分隊長ノ參集ヲ乞ヒ砲術長主宰セラル。砲術士之ヲ準備援助ス
- (二) 採用員數ハ更ニ鎮守府公報ニテ(要スルトキハ入校期日ト共ニ)發表セラルルヲ以テ選拔表順序ニ採用人員ヲ決定シテ各分隊長ニ通知ス。各分隊長提出ノ所見表(砲校規則)ヲ取纏メ砲術長ノ所見ヲ附シ艦長ノ所見ヲ記入シ砲校々長ニ之ヲ送附ス
- (三) 入校出發前更ニ身體検査施行、不合格者アルトキハ之ヲ鎮守府長官ニ報告ス。此ノ補缺ハ鎮守府長官定ム
- 三 特修科砲術、高等科砲術及高等科測的術練習生選拔手續
- (一) 鎮守府公報ニ依リ普練生ト同様ニ志願者ヲ募ル
- (二) 志願者ノ身體検査ヲ行ヒ當該規則ニ適合スルモノヲ選拔シ所見表ヲ作成、期限内ニ鎮守府長官ニ報告ス
- (三) 採用人名ハ鎮守府公報ニ發表セラル
- (四) 其ノ他普練生ニ同ジ

第八章 圖書帳簿類及其ノ整理

一六

- 一 砲術科ニ關スル令達類ハ相當多數アルヲ以テ執務上左ノ如ク分類スルコトヲ便トス
内令綴、内令兵綴、達號綴、船體機密綴、官房機密綴、戰技關係綴、檢定競技關係綴、報告控、砲術教育關係綴、雜綴
- 二 砲術科ニハ左ノ如キ圖書及青寫眞アリ。之等ノ圖書ハ種類ニ應ジ目錄及貸與簿ヲ作り紛失ヲ防止スルヲ要ス
射表、同附表、臆外彈道表、砲齡藥齡藥溫ニ對スル各種砲初速差表、砲術要誌、砲歴、測距儀歴、海軍砲藥量表、其ノ他艦政本部、砲術學校發行ニカカル參考圖書、彈藥庫ニ關スル圖面、砲煩兵器ニ關スル圖面、其ノ他實驗成績ニ關スル證明書竝ニ記錄檢査表
- 三 砲術科ニハ軍極秘、極秘書類アルヲ以テ之等ノ取扱又ハ處分法等ニ就キテハ平常調査シ置クヲ要ス
- 四 砲術科關係ノ操式教範類ハ纏メテ航海士ヨリ借用シ置クヲ便トス
- 五 彈火藥庫日誌、砲術要誌、番兵手帳、艦砲射擊報告用紙、機銃小銃拳銃射擊報告用紙、机上射擊演習用紙等ノ艦營需品ハ掌砲長其ノ出納ヲ掌ルモノナレ共在庫品ノ現狀ヲ知悉シアルヲ要ス

第九章 報告書類 (砲術士關係ノミ)

- 一 射撃ニ關スル報告——艦砲射撃訓練規則(内令提要卷二) 艦砲射撃教範、聯合艦隊射撃成績調査内規或ハ小銃機銃及拳銃射撃訓練規則(諸例則卷ノ三)ヲ参照調製スベシ
- 二 檢定競技ニ關スル報告——檢定ハ艦砲射撃訓練規則及檢定實施標準(所屬長官發布)ノ定ムル所ニ從ヒ、競技ハ昭和十二年四月二日官房機密第一一四八號(内令提要卷二)ニ依リ適宜ノ様式ニテ報告
- 三 教育計畫報告——基本長ハ所屬長官ノ教育方針ニ基キ教育年度ノ始メニ於テ教育計畫ヲ定メ所屬長官ニ申達スルヲ例トス。砲術長ハ艦長ノ命ヲ承ケ砲術科關係ノ教育ヲ按畫ス
- 四 教育報告——基本長ハ每教育年度ニ於ケル基本部教育報告二通ヲ調製シ毎年十二月五日迄ニ所屬長官ニ提出ス。砲術長ハ砲術關係ノ教育報告ヲ作製尙該年度ノ教育方針及計畫ヲ添附ス
- 五 測距儀檢査報告——毎年一月一日ヨリ十二月三十一日迄ノ事項ヲ記註心得ニ依リ調製ス

(第十章参照) 測距儀ヲ毎年五月十一月ノ二回ニ亘リ検査シ其ノ成績ヲ記註心得ニ依リ調製(第十章参照)

七 軍艦現狀報告——毎月五日以内ニ提出ス。艦全般ヲ綜合スルモノニシテ砲術長主管ノ船體兵器ノ現狀ヲ記註ス(主トシテ掌砲長記註ス)

八 軍艦現狀臨時報告——臨時報告ハ臨時事件發生ノ場合報告ス(通常砲術長記註ス)

第十章 砲術士直接保管整理スベキ書類

一 砲術要誌——砲術科ニ關スル諸般ノ事項（將來參考トナルベキモノ）ヲ隨時記註毎

月一回艦長ニ提出スルモノトス

二 彈火藥庫日誌——彈火藥庫主管者竝ニ當直將校所要ノ事項ヲ記註ノ上毎日一回副長竝ニ

彈火藥庫主管者ノ查閱捺印ヲ受ケ每週一回艦長ノ查閱捺印ヲ受クルモノトス

三 砲術長通達簿——艦長命令ノ傳達、砲術長ノ令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關係

者ヲシテ閱覽承知セシム

四 教育記錄——砲術教育實施ノ經過ヲ記錄シテ其ノ進捗ノ狀況ヲ明カニシ又所見及爾

後ノ計畫等ヲ附記シ毎月一回艦長ニ提出スルヲ例トス

五 禮砲日誌——禮砲ニ關スル事ヲ隨時記註スルモノトス

（掌砲長保管スルヲ普通トス）

六 海軍砲歴——砲ノ構成及其ノ現状ヲ知悉スルタメ各砲ニ砲歴ヲ備ヘ所定ノ事項ヲ記
（掌砲長保管スルヲ普通トス）

註シ毎年一回一葉宛拔取り提出スルモノヲ砲現狀報告ト謂フ

七 測 距 儀 歴

測距儀之保管測的
士ナキ時ハ砲術士又
ハ掌砲長保管ス

測距儀ノ構成及其ノ現状ヲ知悉スルタメ各測距儀ニ測距儀歴ヲ備ヘ所
定ノ事項ヲ記註シ、毎年五月十一月ノ二回ニ亘リ定期検査ヲ行ヒ其ノ
成績ヲ報告用紙ニ記入シ在籍鎮守府經由艦政本部長ニ送付ス。之ヲ測
距儀定期検査報告ト謂フ。但シ工廠ニテ検査修理ヲ行ヒタル場合ニハ
工廠之ヲ記入ス（報告用）

（終）

砲術士勤務參考 終